



菅原 隆文
(よねしろ会)

未曾有の経済大不況、市の対応策

質 この世界同時大不況の中、市内企業の現況の把握と認識は。これまで実施した対策と効果はどうか。また、今後予定される経済対策や雇用対策はあるか。

答 企業訪問・アンケート調査結果で、約8割が事業縮小傾向、半数以上が人員削減実施の回答があった。今年も厳しい状況が続いていることから、マル能の利子補給や国の交付金事業等で支援している。利子補給は4件の申請、臨時職員は3名雇用している。急激な生活困窮者への対応としての支援制度については、担当課や雇用相談窓口へ相談いただきたい。

齊藤市政4年目、課題の人口増政策は

質 市の人口減に歯どめがかからない。前年より1028人減少し、昨年末で6万1804人。現況の子育て支援策のほかに、人口増のために結婚対策室をつくるとか直接的な施策はできないか。

答 若者の定住に結びつく産業創出と雇用確保、子供を産み育てやすい環境づくりなどで、一人でも人口がふえるよう努めている。若手職員政策検討会議の提案の趣旨を市関連事業に生かし、関係団体等とも連携し、日常活動が出会いの機会につながるよう、できることから取り組みたい。直接的な結婚対策は今後の検討課題。

その他の質問事項

- ・ 特別職報酬に対する市長の思いは
- ・ 街路樹の剪定、今後の市の方針は
- ・ 火災警報器の支援



高橋 孝夫
(平政会)

能代商工会議所補助金不正問題の責任は

質 長年の不正行為は重大事件と思う。全補助金のうち平成9年以前の不正受給状況はどうか。また、会議所職員の処分は厳格であったが、役員の監督責任のあり方をどう感じるか。

答 平成9年以前については関係書類が保存されておらず、調査することができない。公益法人でありながら、数多くの不正受給が認められたことは誠に遺憾。昨年8月28日には会議所に適正執行を求める警告を発している。今後、会員のみならず市民の期待に応える活動をされることが、役員一同の責任であると考えている。

二ツ井地域局の改変(縮小)に配慮を

質 合併に対するアンケート調査の報道があり、二ツ井地域内の結果は合併はよくなかった64.1%と多い状況だ。原因は、二ツ井地域局組織の拙速な改変と思うが。

答 二ツ井地域住民の合併についての評価は非常に厳しく、真摯に受け止めなければならない。合併は究極の行財政改革といわれるが、合併すれば目的が達成される訳ではなく、合併後も継続的に行財政改革をしていかなければならない。課題には果敢に取り組みつつも拙速に陥らないよう配慮する。

その他の質問事項

- ・ 予算編成と実施計画との整合性は
- ・ 大型事業導入による償還金計画は
- ・ 学力調査結果の生徒指導への活用



庄司 紘八
(市民の声)

定住人口の目標設定

質 市民とともに6万人の人口は守るとの思いで、定住人口の目標設定してはどうか。行政・業界・市民を上げてひとつの目標に向かっていく姿を描いてみてはどうか。

答 人口動向の要因は複雑なため合理的な目標設定が困難であり、また、上乘せした人口設定での基盤等の量的整備は現実的でない。総合計画では人口目標ではなく、さまざまな分野での目指す姿や状態と目標指標を設定し、実現に向けて行政、市民、団体等が取り組む。その中で一人でも多くの人口がふえることを目指したい。

都市計画道路の見直し

質 藤山踏切は狭隘で、大型車の交差どころか普通車の交差もままならない。登下校する生徒が、危険にさらされながら渡っている状況をいつまで放置しているのか。

答 未着手の都市計画道路の対応は、都市計画マスタープランで方向づけしていきたい。藤山踏切は、立体交差化ではなく踏切の拡幅による改良を目指して、今後、県と連携を取りながら、国に改良方法の変更を働きかけ、認められた際には、都市計画決定の変更、拡幅による踏切改良へと進めていきたい。

その他の質問事項

- ・ この地の経済構造改革
- ・ 中心市街地活性化推進協議会